

刑 法 犯 の 概 況

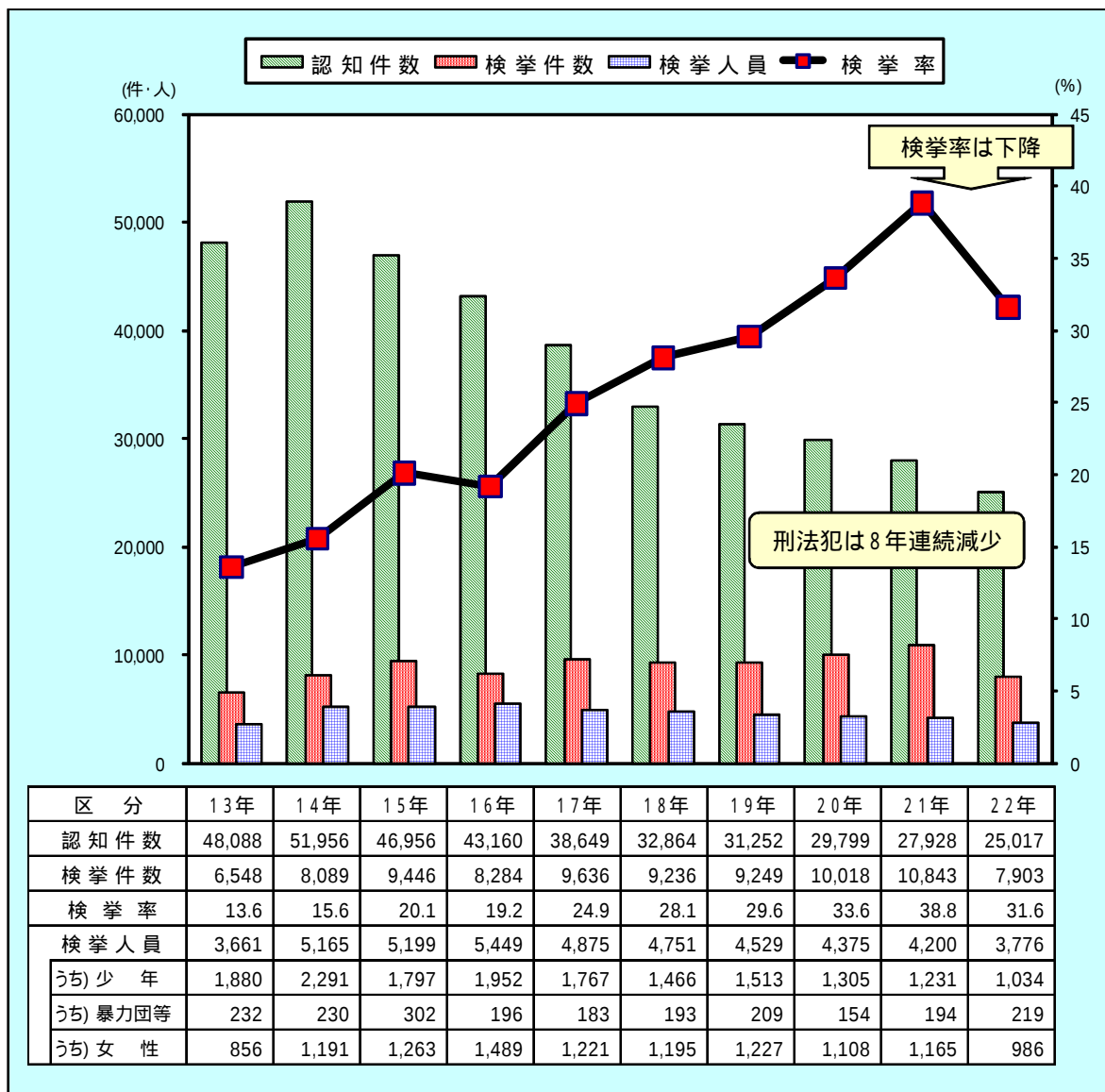
1 刑法犯

- 刑法犯は8年連続減少

平成22年中の刑法犯は、認知件数が25,017件、検挙件数が7,903件、検挙人員が3,776人となっています。前年と比較すると、認知件数は2,911件（-10.4%）、検挙件数は2,940件（-27.1%）、検挙人員は424人（-10.1%）それぞれ減少しています。

刑法犯の認知件数は平成14年に戦後最多となる51,956件を記録しましたが、その後は8年連続で減少しています。

図 - 1 刑 法 犯 認 知・検 挙 状 況 年 次 推 移

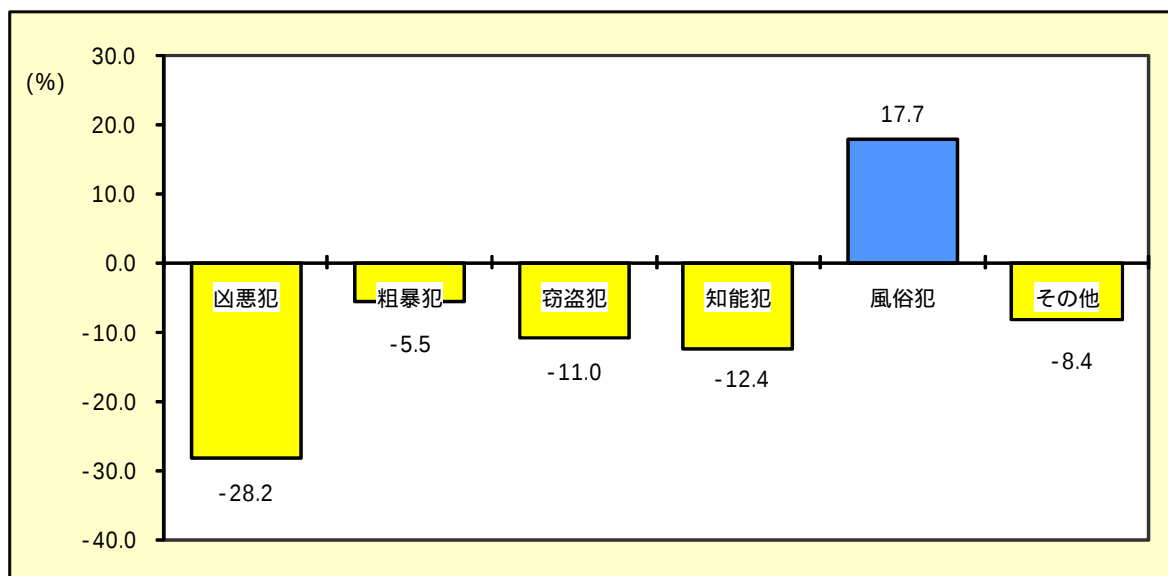


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が９４件、粗暴犯が５３１件、窃盗犯が１８，９７５件、知能犯が７０６件、風俗犯が１５３件などとなっています。前年と比較すると、風俗犯以外はそれぞれ減少しています。

表 - 1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分		総 数	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗 犯	知 能 犯	風 俗 犯	その他の 刑法犯
平成 22 年		25,017	94	531	18,975	706	153	4,558
	構成比	100.0	0.4	2.1	75.8	2.8	0.6	18.2
平成 21 年		27,928	131	562	21,323	806	130	4,976
	構成比	100.0	0.5	2.0	76.3	2.9	0.5	17.8
増減	件 数	-2,911	-37	-31	-2,348	-100	23	-418
	%	-10.4	-28.2	-5.5	-11.0	-12.4	17.7	-8.4

図 - 2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して６種に分類したものをいいます。

凶 悪 犯 ... 殺人、強盗、放火、強姦
 粗 暴 犯 ... 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
 窃 盗 犯 ... 窃盗
 知 能 犯 ... 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
 風 俗 犯 ... 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
 その他の刑法犯 ... 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、
 略取・誘拐等、器物損壊等上記に掲げるもの以外の罪名

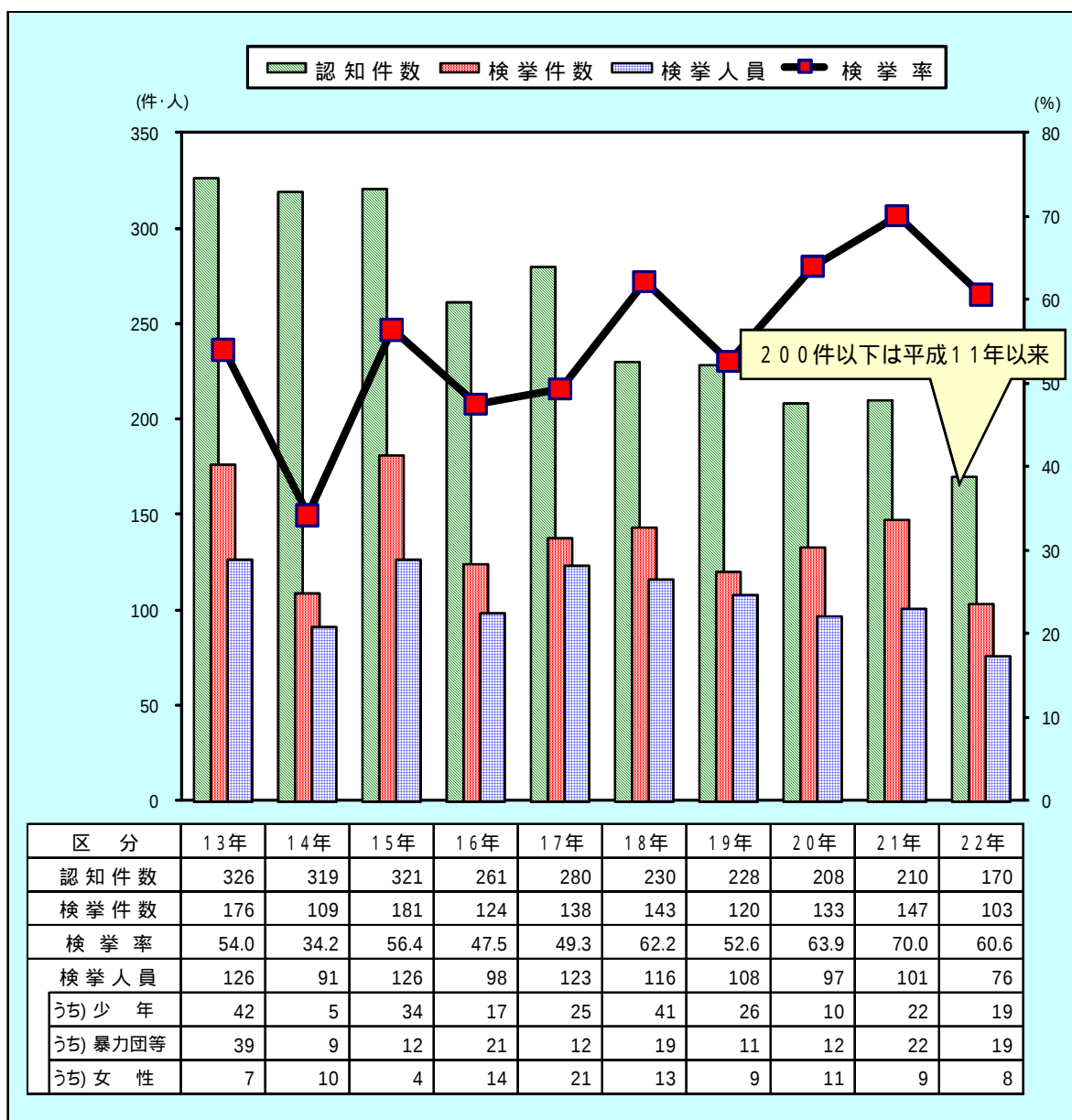
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつ）

- 重要犯罪は11年ぶりに200件以下

平成22年中の重要犯罪は、認知件数が170件、検挙件数が103件、検挙人員が76人となっています。前年と比較すると、認知件数は40件（-19.0%）、検挙件数は44件（-29.9%）、検挙人員は25人（-24.8%）それぞれ減少しています。

重要犯罪の認知件数は平成13年から3年連続で300件を上回りましたが、その後は減少傾向で、平成22年は11年ぶりに200件以下となっています。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

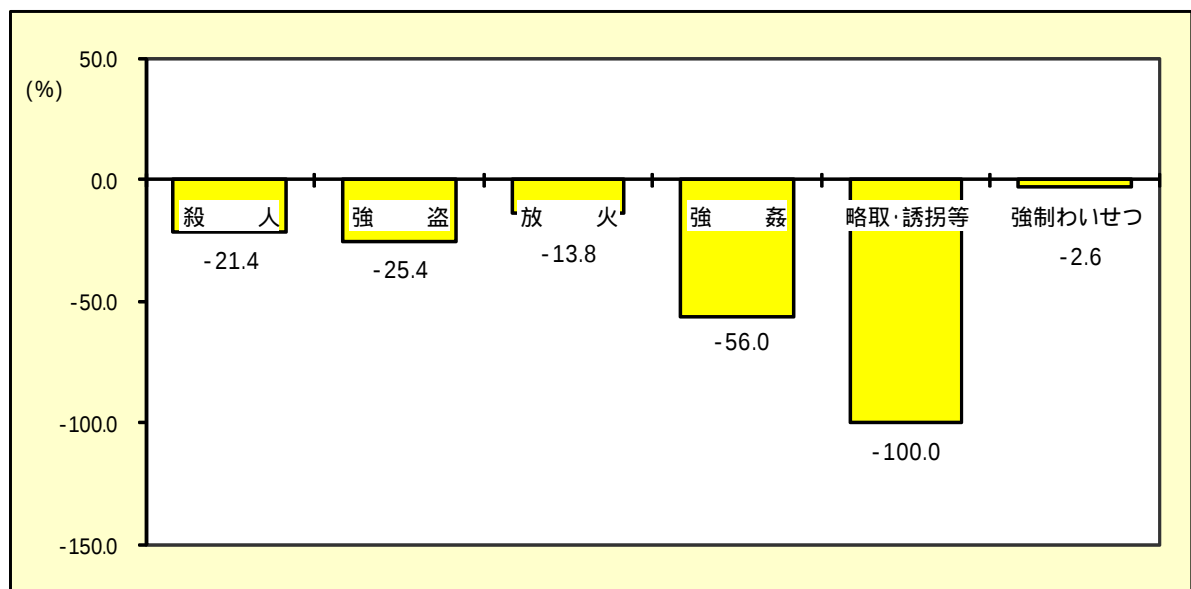


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が１１件、強盗が４７件、放火が２５件、強姦が１１件、強制わいせつが７６件となっています。前年と比較すると、殺人、強盗、強姦など全罪種で減少しています。

表 - 2 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種 区分		総 数	殺 人	強 盗	放 火	強 姦	略 取・ 誘 拐 等	強 制 わいせつ
平成 2 2 年		170	11	47	25	11		76
平成 2 1 年		210	14	63	29	25	1	78
増減	件 数	-40	-3	-16	-4	-14	-1	-2
	%	-19.0	-21.4	-25.4	-13.8	-56.0	-100.0	-2.6

図 - 4 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

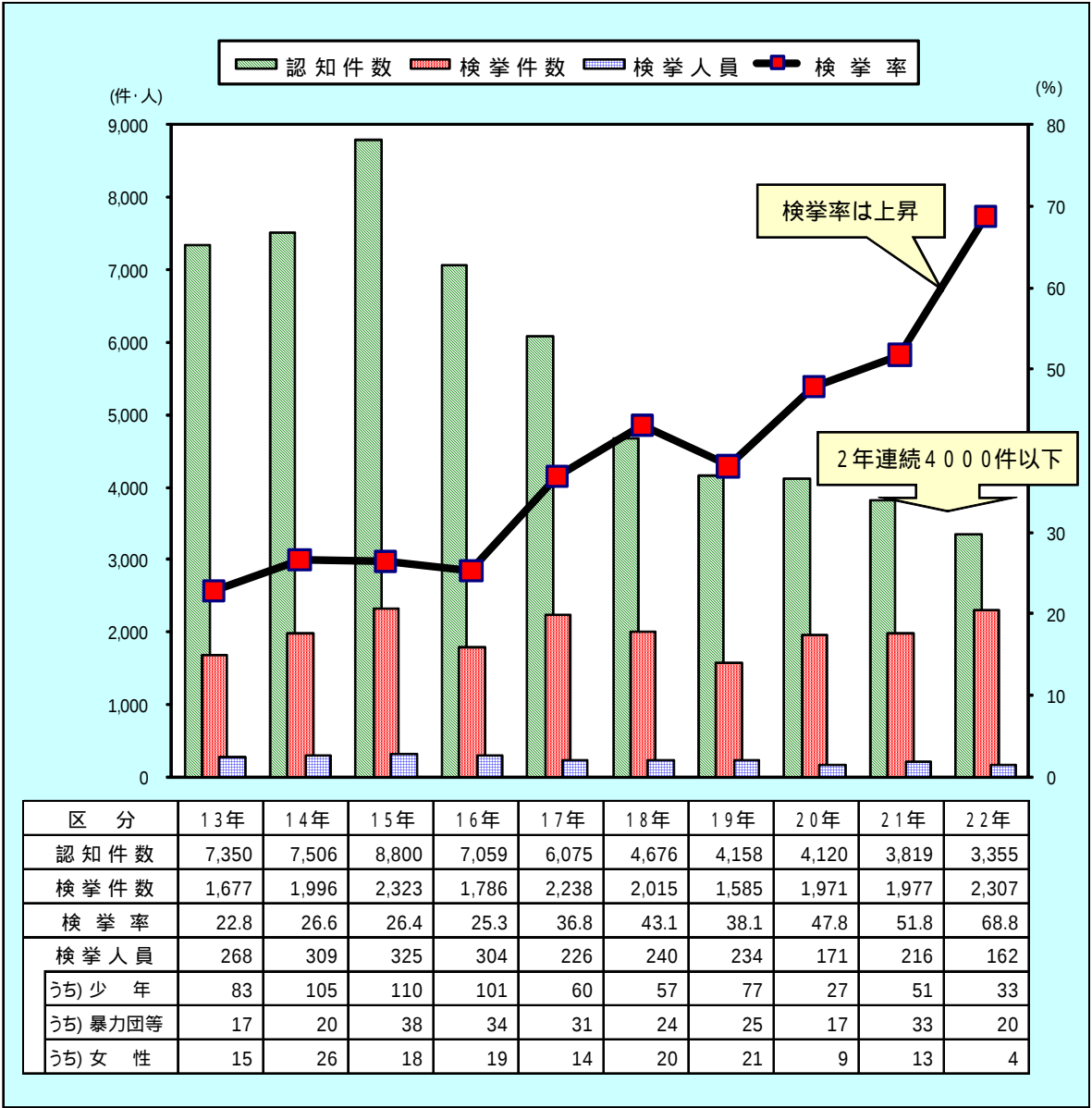
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

- 重要窃盗犯は昭和50年以降で最少

平成22年中の重要窃盗犯は、認知件数が3,355件、検挙件数が2,307件、検挙人員が162人となっています。前年と比較すると、検挙件数は330件(16.7%)増加しましたが、認知件数は464件(-12.1%)、検挙人員は54人(-25.0%)それぞれ減少しています。

重要窃盗犯の認知件数は平成15年に8,000件を突破しましたが、その後は7年連続で減少しています。平成22年の数値は統計が残る昭和50年以降で最も少ない認知件数となっています。

図 - 5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

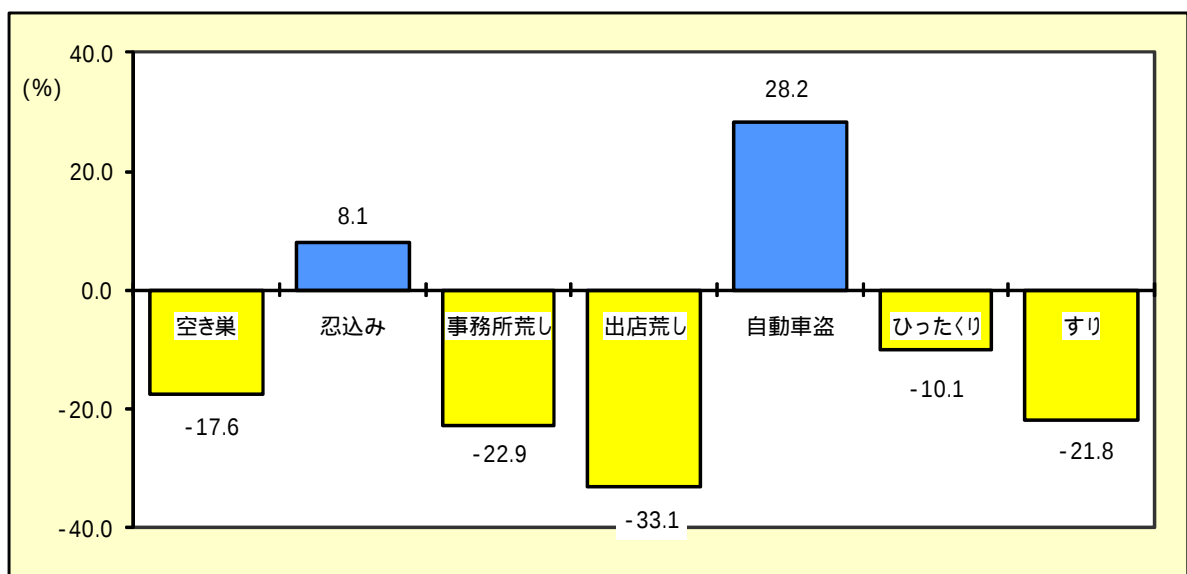


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が2,718件、自動車盗が532件、ひったくりが62件、すりが43件となっています。前年と比較すると、自動車盗は増加しましたが、侵入盗は空き巣、出店荒し、事務所荒しなどの減少が目立ちました。

表 - 3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

手口		総 数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	す り
				空き巣	忍込み	居空き			
区分									
平成22年		3,355	2,718	885	399	50	532	62	43
平成21年		3,819	3,280	1,074	369	93	415	69	55
増減	件数	-464	-562	-189	30	-43	117	-7	-12
	%	-12.1	-17.1	-17.6	8.1	-46.2	28.2	-10.1	-21.8

図 - 6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。